

## 料理を通して国際交流

大津町国際交流協会が外国料理交流会を開催

昨年12月1日、大津町国際交流協会が主催する外国料理交流会が町生涯学習センターで開催されました。参加者は留学生に作り方を教わりながら、小麦粉で作った皮に野菜を炒めた具を巻いて食べる中国料理の「餅子」や、米粉の皮を使った「揚げ春巻き」などを作りました。また、大津町食生活改善推進協議会の協力で町特産のからいもが入ったいきなり団子汁なども振舞われました。



今年は熊本学園大学などに通う中国やベトナムの留学生5人を含む、約50人が各国の料理を楽しみました

## 大津町健康推進大会を開催

「食」と「運動」で元気づくり

昨年11月17日、子育て・健診センターで健康推進大会を開催しました。大会では、女性に増加している「大腸がん」について、大腸肛門病センター高野病院入江朋子医師が講演を行い、昼食には腸にやさしい食事「雑穀・野菜おじや」を提供しました。また、午後からは「普通学級にいる気になる子どもへの支援」について、熊本大学教育学部干川隆教授が講演を行いました。



小雨の中、太極拳の体験をする参加者

## 食生活改善推進協議会の長年の活動を評価

昨年10月、大津町食生活改善推進協議会(会長：西スエ子<sup>にしすえこ</sup>さん、会員数54人)が厚生労働大臣賞を受賞しました。これは地区住民の健康を保持増進するため食生活改善を積極的に推進して、地区住民の健康な生活習慣の実現に向けた活動が評価されたものです。

大津町食生活改善推進協議会は長年活動を続けており、町が主催するイベントなどにも数多く参加しています。協議会の会員は町で行った栄養教室の卒業生です。健康づくりのための食生活改善は「まずはわが家」そして「地域ぐるみで広げよう」とさまざまな活動を展開しています。

厚生労働大臣賞受賞



厚生労働大臣賞受賞祝賀会で撮影した一枚。食生活改善推進員(ヘルスメイト)の皆さん、これからも町民の健康のために頑張ってください

## 更生保護に対する援助に感謝

昨年11月、大津町更生保護女性会が更生保護法人熊本自営会から長年の援助に対する感謝状を贈られました。熊本自営会では罪を犯した人の自立を手助けしており、大津町更生保護女性会は毎年、募金や日用品の寄付、からいもを使った料理の給食ボランティアなどを行ってきました。会長の坂本晶江<sup>さかもとまさえ</sup>さんは「母親の心を持って自立支援を応援しています。届いたお礼状を読むと、とても心にしみますね。おふくろの味(家庭の味)が人の心を取り戻すきっかけになるのだと、料理を届けながら感じます」と話しました。

大津町更生保護女性会に感謝状



大津町更生保護女性会の会員は現在83人。来年は創立50周年を迎えます

## 宝くじ助成事業でコミュニティ無線放送システムを整備

つつじ台区と下町区にコミュニティ無線放送システム整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、つつじ台区と下町区にコミュニティ無線放送システムが整備されました。

この、コミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後のつつじ台区と下町区の益々の活性化が期待されます。



両地区に整備されたコミュニティ無線放送システム

## 統計調査に大きく貢献

平成25年度熊本県統計功労者表彰式

昨年11月7日、「平成25年度熊本県統計功労者表彰式」が県庁で開催され、町からHOYA<sup>ホヨア</sup>㈱が「毎月勤労統計調査」に大きく貢献したことが評価され、厚生労働大臣表彰を受賞しました。また、三浦かつ代<sup>みつらかつよ</sup>さん(真木)が県知事表彰を、山口照子<sup>やまぐちてるこ</sup>さん(下町)が県統計協会会長表彰を受賞しました。2人は長年にわたり各種統計調査に調査員として貢献したことが評価されたものです。



表彰状を手にするHOYA<sup>ホヨア</sup>㈱総務調達部総務広報課の土屋雅誉<sup>つちやまさよし</sup>さん

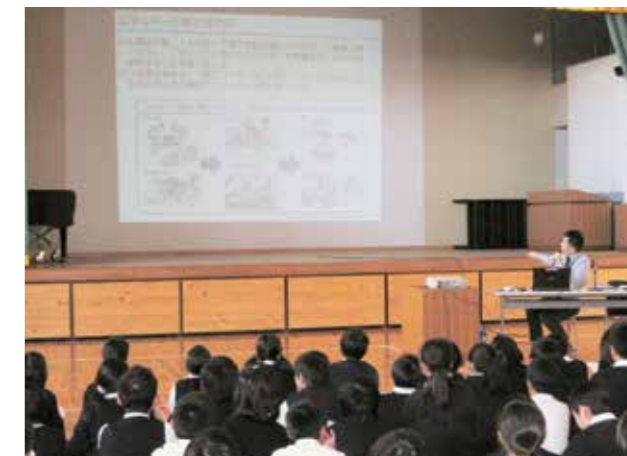
## 再生可能エネルギーについて学んだよ!

昨年11月21日、美咲野小学校の5年生約90人が、太陽光発電などの再生可能エネルギーの現状について学びました。これは、町の「生涯学習出前講座」の一環で、当日は体育館で具体的事例の映像を見たり、3択問題に答えたりして理解を深めました。

美咲野小学校の屋根には、町内公共施設の中で現時点で最大となる30kWの太陽光パネルが設置してあります。

5年生の担任の一人、佐藤慶子<sup>さとうけいこ</sup>先生は、「町の出前講座を活用し、エネルギーについて調べ始めたところ。最終的には『自分たちができること』について考え、実践していきたい」と、今後の方向性を語りました。

生涯学習出前講座(新エネルギー)



児童は皆、講師(町職員)の説明を熱心に聴き、メモを取っていました